

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2008年度第3回図書館サービス・システム委員会議事録

日時：2008年10月17日(金) 13時30分～17時

場所：愛知工業大学 AIT プラザ多目的室

出席者：尾崎友子（名古屋女子大学） 濱口庸介（愛知大学） 木村倫代（愛知学泉大学）
小川真智子（愛知工業大学） 小嶋智美（愛知淑徳大学） 鈴木卓美（金城学院大
学） 高木陽司（中部大学） 藤井智夫（東海学院大学） 保富洋子（豊田工業大学）
中島慶子（豊橋創造大学） 守田正江（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学）
石田信（南山大学） 栗木良次（愛知学院大学） 加藤直美（愛知工業大学）
委員長 ホームページ委員

計 14 名

記 録：栗木良次（愛知学院大学）

【デモンストレーション】

インフォコム株式会社の図書館業務パッケージソフト「Hello Library」について、その機能と特徴を担当者より説明。図書館業務システムと電子図書館システムとのシームレスな連携が最大の特徴である。

【報告事項】

(1) 実務担当者研修会について

9月4～5日に開催された同研修会の事後活動や成果物について、各ワーキンググループ責任者より経過報告を行った。

A グループ（藤井委員）

広報1「魅力的な図書館を印象付けるための広報テクニック」

- ・ 講師を含め ML 上で引き続き情報交換を行っている。
- ・ 11月中旬をめどに、自館で反映したもの（ポスター、ちらし）やレイアウト手法などの改善事例についての成果物を形作っていく予定。

B グループ（高木委員）

広報2「ユーザビリティを主眼に置いたウェブサイトの評価と改善」

- ・ 自館の図書館ホームページ評価をメインに活動しており、現在集計中。
- ・ 各館改善すべき点はあるものの、現状を認識するに留まっている実情も。
- ・ 成果物として、サイト評価に利用した項目を挙げると共に参加者自身の評価結果、研修会で利用した資料を公開したい。

C グループ（小嶋委員）

利用指導「情報リテラシー教育の理解と講習会の実践」

- ・ 各参加者の事後活動
 - 発表に用いたファイルのリライトおよび研修会の参加感想（レポート）作成
- ・ ワーキングメンバー全員の事後活動
 - 全体会報告ファイルのリライト（小川委員による素案を全員で推敲）

なお HP および『館灯』へ掲載する記録・成果物としては、全体会報告ファイルをメインとし、参加者の発表ファイルに関しては作成者に許諾を得た上で掲載する予定である。

D グループ（中島委員）

コミュニケーションスキル「窓口業務における接遇の基本と現場への活用」

- ・ 研修会当日に配布したテキスト（詳細版）およびロールプレイングしたクレーム事例をマニュアル化し参加者へ配布した。
- ・ テキスト「窓口業務における接遇と現場への活用」の見直しと追記を委員にて行い、講師確認後、自館の基本マニュアルとして活用してもらえよう参加者に配布予定。上記、成果物は協議会ホームページへも掲載する。

「館灯」に掲載する内容については、各ワーキングにて判断し提出することとする。

研修会アンケート結果について（高木委員）

講演、ワーキング共に概ね好評であったとの報告があった。今後扱って欲しいテーマについては、利用者支援・教育に関する内容が突出しており、以下 Web サービス、広報と続いた。意見として、他のワーキングにも参加したいとの内容があった。

アンケート結果については、事前に作成された計画書も含め各ワーキングで内容を取りまとめ「館灯」へ掲載することが提案され了承された。

併せて、研修会当日の記録についても ML 上で公開、確認し、アンケート結果や各ワーキング成果物と共に 11 月末をめどに協議会ホームページに公開することとなった。

【審議事項】

(1) 東海地区協議会ホームページについて（濱口委員、加藤私立大学図書館協会ホームページ委員）

はじめに 9 月 9 日に行われたホームページ担当者会議で検討された内容について報告があった。過去ページの管理・移行については、現行ディレクトリ構造で運営し、資料の掲載期間については、理事校の任期にあわせて（2 期）4 年とする。

新しいトップページについては今回、従来の 2 案に MoogaOne タイプが追加作成された

旨報告があり、比較検討の結果、この MoogaOne タイプを採用することで決定した。掲載時期については、12月の常任幹事会での承認を待って行うこととした。

また、「Google Analytics」(Webサイト訪問者の解析ソフト)について、その特徴や機能説明があり、協議会ホームページ上で活用できるかどうか討議を行った。

協会ホームページの契約サーバーが60GBに増強されたものの、使用率が低いとの報告があった。利用法につき協議した結果、(他地区でも)共通で利用できるもの(アーカイブは不可)があれば公表してもよいが、現状はないとの結論に至った。

「館灯」バックナンバーの電子化(現状第41号からのみ)については、引き継ぎ事項として検討していくこととなった。

(2) アンケートについて(保富委員、小川委員、石田委員)

現時点で未回答が3館あり、今後集計一覧を東海地区協議会ホームページ上に掲載し、各館で内容を確認してもらうとの報告があった。

また、集計内容を元に仮作成された東海地区研究集会発表用パワーポイントを委員で閲覧し、各項目の表記方法や内容、グラフ形式の変更点について確認を行った。

(3) その他

・新委員会の運営体制について(尾崎委員長)

事業内容・頻度、適正委員数など次年度からの新委員会について説明があった。現在、新委員会ワーキンググループより規程の改定案が審議されており、次回常任幹事会にて決定するとのこと。

・東海学院大学図書館広報グッズについて(藤井委員)

研修会のワーキンググループAに関連して、同大学で配布しているしおり、ライブラリーカードが配布された。(イラストは同大教授で絵本作家の高畠純氏による)

以上